

平成30年度

取り組みの実績・評価

鶴見区役所

こども教育部会

所管する経営課題

経営課題2

子育てとまなびを応援する
まちづくり

経営課題2

子育てとまなびを応援するまちづくり



2-1 安心して子育てできる環境づくり

子育て支援の充実

計画

関係機関等と連携し、子育て層の交流の場の設定、児童虐待防止の早期発見と防止のための啓発活動、待機児童の解消などに向け、状況に応じた適切な支援、相談、情報提供等、子育て支援に取り組む。

目標

子育て支援事業の利用者で当該事業が役に立ったと答えた人の割合：70%以上

子育て世帯で、子育てに関する相談窓口を知っている区民の割合：80%以上

子育て世帯で、子育てに関する必要な情報が入手できていると感じている区民の割合：70%以上

実績・評価

保健福祉センターでは、子育て支援室を中心に乳幼児期の子どもを抱える子育て家庭等に対し、状況に応じた適切な支援、相談、情報提供を実施し、子育てに対する負担感や不安感の軽減に向け、取り組みを進めている。

・「愛Loveこどもフェスタ」の開催(750人参加)

→保護者のつながりづくりや子育て支援関連施設等の情報提供を目的に実施している。アンケートでは93%の方が来年以降も参加したいと回答しており、満足度は高いと思われる。

30年度は、子育てサロン等の活動内容を情報提供することにより、保護者同士が気軽に交流できるよう声掛け等に努めた。アンケートでは、95%の方に、「子育てに役立つ情報が得られた」との回答があった。

・「つるみっ子ルーム」の利用(年間登録数約570件)

→多くの親子にご利用いただいている。親子参加型講習会の開催や毎月の「お楽しみ会」等を通して、子どもとの関わりの持ち方等をお伝えしている。

30年度は、保護者が子育てに関する相談を気軽に行えるように、保育士が定期的に「つるみっ子ルーム」で相談業務を実施している。

・「子育て講演会」の開催(50人参加)

→“幼児期における気づきと発達支援”をテーマに、発達が気になる子どもの理解と子育てを学ぶ。気兼ねなく子どもと一緒に参加できるように、会場隣室のモニターに講演会の様子を投影した。

アンケートでは94%の方の「今後の子育てや保育の参考になった」との回答や、「具体的な話が分かりやすかった」などの声もあり、満足度は高いと思われる。

・「幼稚園・保育所等情報フェア」の開催(900人参加)

→区内の幼稚園、保育所(園)、子育て支援施設等の協力を得て開催。保護者が直接施設の方と話すなど、一度にたくさんの施設情報や子育て情報を収集する場の提供(2度目の開催)。アンケートでは88.9%の方が「必要な情報が得られた」と回答している。

30年度は区役所会議室で開催したが、会場が分散化される等の課題もあることから、次年度は区民センターでの開催を検討している。

・「拡大子育て支援連絡会」の開催(28人参加)

→鶴見区で子育てする保護者が「身近に相談できる人があって楽しく子育てできる」ように、子育て支援機関の関係者が課題を共有し、それぞれの強みや役割を認識しながら連携を図ることが目的。

アンケートでは全員が「自身の活動が鶴見区の母子に対する支援の中で大切な取り組みであると実感できた」と回答しており、他機関の実状を知ることが今後の活動への活力に繋がったと思われる。



愛Loveこどもフェスタ

5月25日(金)開催

参加者 750人



幼稚園・保育所等情報フェア

9月1日(土)開催

参加者 900人



つるみっ子ルーム

年間延べ利用者数

6,320人



親子参加型の講習会

2月28日(木)、3月7日(木)、14日(木)開催

参加者各15組

評価

子育て支援事業の利用者で当該事業が役に立ったと答えた人の割合

目標

70%
以上

結果

93.6%

子育て世帯で、子育てに関する相談窓口を知っている区民の割合

80%
以上

86.5%

子育て世帯で、子育てに関する必要な情報が入手できていると感じている区民の割合

70%
以上

78.0%

元年度の 取組み

- ・【継続】「愛Loveこどもフェスタ」の開催 1回
- ・【継続】「つるみっ子ルーム」の運営
- ・【継続】子育て講演会の開催 1回
- ・【継続】子育てサロン等での保健師、保育士による育児相談の実施
- ・【継続】子育てマップの作成 1回
- ・【継続】幼稚園・保育所等情報フェアの開催 1回
- ・【継続】フェイスブック、ツイッターを活用した子育て情報の発信